

令和5年度「再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム（疾患特異的 iPS 細胞を用いた病態解明・創薬研究課題）分野3）」に係る公募について

国立研究開発法人日本医療研究開発機構では、令和5年度「再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム（疾患特異的 iPS 細胞を用いた病態解明・創薬研究課題）分野3）」に係る公募を行います。

「再生医療実現拠点ネットワークプログラム 疾患特異的 iPS 細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム」の後継事業として令和5年度から開始を予定している「再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム 疾患特異的 iPS 細胞を用いた病態解明・創薬研究課題」では、難病等の患者由来の疾患特異的 iPS 細胞等を用いた疾患発症機構の解明、病態解析技術の高度化、創薬研究を推進します。また、ゲノム医療研究への活用も念頭に置きつつ、疾患付随情報等が充実した疾患特異的 iPS 細胞バンクの整備とその利活用促進を行います。

「疾患特異的 iPS 細胞利活用促進のための共同研究課題」は、アカデミアや企業等による疾患特異的 iPS 細胞研究の裾野拡大のため、疾患研究を行う研究者と iPS 細胞を用いた研究を行う研究者による共同研究を実施し、「疾患特異的 iPS 細胞利活用促進のための共同研究支援課題」は、当該共同研究の実施に関する支援体制の構築を目指します。

詳細につきましては、以下の URL をご覧ください。

https://www.amed.go.jp/koubo/13/01/1301B_00028.html

公募〆切：令和5年2月27日（月）正午【厳守】

e-Rad にてご提出ください。

お問い合わせ先：

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番1号 読売新聞ビル 21階

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

再生・細胞医療・遺伝子治療事業部 再生医療研究開発課

「再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム

（疾患特異的 iPS 細胞を用いた病態解明・創薬研究課題）」公募担当

E-mail： saisei-ips@amed.go.jp

※お問い合わせは必ず E-mail でお願いいたします。